

干渉電流型低周波治療器

イトーES-8000

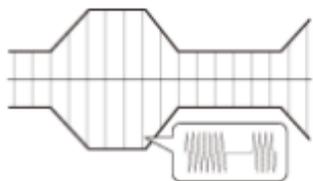


3D 治療モードの 4 チャンネル出力が実現。 立体的な電流のうねりがさらに進化。

立体的に複雑な電流のうねりを発生させ、広範囲に深部を刺激する「立体動態波」、筋肉に立体的な刺激を与える「3D EMS」、マイクロカレント治療が立体的に行える「3D MENS」の3つの3D治療モードを搭載。3つのモードを組み合わせることで、さまざまな症状に対応する複合的なアプローチを可能にします。また、新たに開発された「3D リリースパロープ」と「マルチバーストモード」により、さらに幅広く効果的な治療を実現します。

立体動態波モード

6点の電極から流れる電流が3次的に干渉することで、生体深部の筋や神経にも刺激を与えることができます。搬送周波数をスイープさせることで、表層部から深層部まで広範囲に治療が行えます。

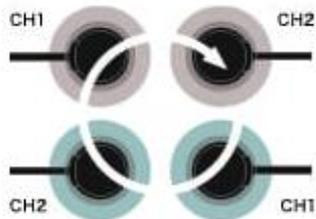


マルチバーストモード

新たに搭載された「マルチバーストモード」は、独自のアルゴリズムにより周波数を変化させることで、患部を効率的に刺激することが可能です。刺激感にこだわり、不快感なく出力が上げられるため、反応の悪い神経や筋の治療に効果が期待できます。

3D EMS モード

不随意的な筋収縮を引き起こす、筋電気刺激療法を立体的に行います。深部への治療が可能で、筋萎縮の改善や低下した筋力のトレーニングなどに適しています。



回転モード

複雑な筋収縮を引き起こし、大腰筋などの深部の筋を刺激することができます。

3D MENS モード

損傷部の治癒を促進するマイクロカレント療法を立体的に行い、深部にアプローチします。立体動態波モードの 1/1000 という極めて弱い電流のため、ほとんど刺激がなく、神経や筋を興奮させません。

治療例



腰部(6極吸引導子)



腰部(6極吸引導子)



足関節(3Dプローブ)



膝(3Dゴム電極<シート用>)